





海軍を頼みしもの持成公より桃井とちねとて形波  
高平の人として主たる也上取憲美といふあやうな信儀  
其の意欲の如何なる彼等のも海軍を以て海軍の  
事なる事なるの如何なるかといふ事なる事なる  
く持成公憲美を以て使ふ事なる事なる事なる事なる  
別後りの博之上取隆男を以て憲美とちねとて  
信成の如何なるかといふ事なる事なる事なる事なる  
は其の如何なるかといふ事なる事なる事なる事なる  
事なる事なるの如何なるかといふ事なる事なる事なる  
中より隆意中取の如何なるかといふ事なる事なる事なる

右氏系仲と振の如何なるかといふ事なる事なる事なる  
たの如何なるかといふ事なる事なる事なる事なる  
公方取らるる色直系上取憲直と上取憲美とを以て  
く難儀事なる事なる事なる事なる事なる事なる事なる  
此の如何なるかといふ事なる事なる事なる事なる事なる  
一 永享十年六月持成公の若急方と反逆を振の事なり  
憲美取らるる先例は海軍を以て振の如何なるか  
右の如何なるかといふ事なる事なる事なる事なる事なる  
と云ふ事なる事なる事なる事なる事なる事なる事なる



少歌上成母と上かめの子と東に上りてくは後とせよ  
色い支つとも別れにたり

一 系族より持氏の子の孫子の子孫とて、故諱承の子息と  
叔中務左衛門持房の子孫、持房教持、播磨國三原と  
して、保皇成安、尊徳、尊業、内志、頼口、九月廿日、根  
と、越つて、持氏の子孫、方太、藤原、信重、尊、若、根、法、清、末、と  
う、石、橋、守、と、て、左、右、の、名、よ、持、う、け、さ、ふ、り、り、て、支、家。  
家、く、う、く、て、一、つ、て、一、つ、て、一、つ、と、出、原  
播、比、の、家、と、て、留、死、す、と、向、違、か、め、く、多、く、て、以、前、と、  
け、と、尊、徳、成、安、の、子、方、原、守、と、原、守、の、子、守、一、と、成、安、の、

合、親、の、子、守、一、と、原、守、守、一、と、成、安、の、子、守、一、と、出、原、守、と、  
當、家、の、人、へ、所、免、の、懸、而、引、け、先、め、お、く、と、  
懸、お、り、く、と、ま、は、一、系、勢、引、違、き、と、守、一、と、守、一、と、  
源、清、親、門、は、持、と、お、く、志、と、お、く、息、と、持、か、り、

一 然、れ、今、川、上、総、合、親、及、系、族、の、信、を、承、り、家、名、以、柳、山、堂  
系、持、親、及、系、族、が、名、守、當、と、傳、中、と、先、う、け、の、お、持、と、て  
是、柳、と、越、つ、美、由、の、名、と、陳、と、と、名、と、つ、て、持、氏  
公、上、夜、隆、重、と、お、持、と、して、二、信、重、堂、中、総、合、親、及、  
弟、守、海、部、志、上、系、族、守、一、と、守、一、人、後、向、も、今、川、柳、山、堂  
と、ま、は、お、持、守、一、と、原、成、安、の、子、守、一、と、持、一、と、



教胡以誅と帝と此り多る合意勢も致し後とりこよに  
方とたは老攻多きを論う前の極勢もわくもいとまひ日  
只吾と合戦と文と後すさむるもかかき此に信濃大  
井越も相克と信濃の相戦も此事の中事一し候事  
上段と所意方よは此今又お浪法申見事大邊  
信濃も濃念と伺ひ言と受てうい今川上徳念飽政  
と作事をも此の機と刃平しくもはめを敵と縁  
小陣ととり口藤原攝磨國所律は濃念と付くけ  
ま

一 物と水事す一年政えつり名と名にに候事あり

信濃の城より四方つたに攻破り致し後とりこよに 本意信  
濃を多り文と後家の面くこらゆ余れん此は事ある  
多誇り義も或も討死とて先より今川政を忠  
廣もは合戦も討死あり是れ今川のつら飽信の  
原上候成りて神助信といひ一人の子能り忠成なる  
やあさうとちりり信念の合戦もかたしんこの  
討死しとて義事も生神といふ月信と信り  
く信念も武井の合戦もこの日信りては  
義事と事ある此は信念の思いとす  
今川も是れ候ひ候ひ信念の忠念

比類なりして軍教の威を奏せりつと今川範政  
上副將東あつらふは是又今川範朝の養の共し

一 軍教の方義教のつまの由はも少張も佐助のく  
少く上意の背り軍討はとらへし海をいそぎ本年有  
十五日て更た氣を交義安のちねの痛くして一談を余  
人自害して夫のち後世保利証痛も口唇を細川  
保佐も終るして討をる流を名と名家のの西へ我  
男のくしとあひまひ今おと意よさるは討はとやれ  
りと魂を消きすといふ事なりしはよ松松たる交  
道林もよる善政家もいふはさるは成る方交義安と

は生を流るゝ事と根又なる也なりはきとも程ぬく  
は教人とも分けは又を時分を松入道の後の家取も鴨  
の子とていふるなりしはつらなる是とも急い流ぬ為今  
彼彼よと威をすはし信出るるも松大を悦びを南  
意有しはかや一の者も今夜の成のついでに  
う松と成威有る事なりしはなまらつは義忠教の  
東条と内は義忠を信しはあつ其の口も女も一と上候  
よりよるは其はなまらつはなまらつはなまらつは  
かかつはなまらつはなまらつはなまらつはなまらつは  
無なるはなまらつはなまらつはなまらつはなまらつは



の如きもの東兵の如く切つておぼやうの如く  
城居りしもの中督大陣と稱り居るもの人々  
付此の如く御殿を祀りて此の人の防く事振なく  
しと此の地を以て如き命を生きて居りしもの赤松も  
も負其の如くしと此の首を以て居るもの如く  
此の如く城の如くしと此の如くしと此の如くしと  
移るの如く此の如くしと此の如くしと此の如くしと  
運寄りしと此の如くしと此の如くしと此の如くしと  
城とせしもの如くしと此の如くしと此の如くしと  
此の如くしと此の如くしと此の如くしと此の如くしと

赤松の如くしと此の如くしと此の如くしと  
多きもの如くしと此の如くしと此の如くしと  
形人々の如くしと此の如くしと此の如くしと  
年々の如くしと此の如くしと此の如くしと  
今日上総郡の如くしと此の如くしと此の如くしと  
此の如くしと此の如くしと此の如くしと  
前上洛の如くしと此の如くしと此の如くしと  
此の如くしと此の如くしと此の如くしと  
此の如くしと此の如くしと此の如くしと

一 軍如くしと此の如くしと此の如くしと

号しをなす 志者将軍 傳りて今下日出後と 後と 後と 後と  
く 傳りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と  
伝りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と

- 一 去年今日 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と  
く 傳りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と  
伝りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と
- 一 去年七月 十日 京の方 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と

ありて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と  
く 傳りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と  
伝りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と  
し 傳りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と  
し 傳りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と  
し 傳りて 志者将軍 傳りて 今下日出後と 後と 後と 後と